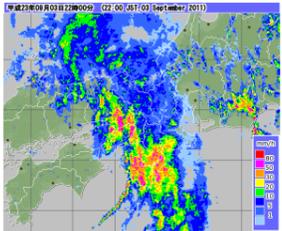


「逃げる」「凌ぐ」 ための・・・

情報提供の取組み

【気象庁】
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。
 (出典:気象庁ホームページより)



【国土交通省 防災情報提供センター】
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
<携帯サイト>
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>
【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】
<http://www.river.go.jp/xbandaradar/index.html>



NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。



視聴方法

- NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す
- TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。

受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

【大阪府 洪水リスク表示図】
<http://www.river.pref.osaka.jp/>
 地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。



【大阪府都市整備部河川室河川防災情報】
<http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/index.html>
 寝屋川流域の雨量、流域内主要河川の水位状況、洪水予報などを確認できます



【おおさか防災ネット】
<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>
 緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。



防災情報を携帯電話で入手できます。
 下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。
<http://i.river.go.jp/>
 直接アクセスしてください。



大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
<http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>
 直接アクセスしてください。



防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net



淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画(変更原案)の詳しい内容について知りたい方は

- (1)大阪府都市整備部河川室のホームページに掲載しています。
 (アドレス http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)
- (2)以下の場所で資料を備えています。
 - 大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)
 - 大阪府寝屋川水系改修工営所
 - 大阪府八尾土木事務所(中河内府民センタービル)
 - 守口市役所 下水道業務課
 - 八尾市役所 土木総務課
 - 大東市役所 水とみどり課
 - 門真市役所 土木課
 - 東大阪市役所 下水道部河川課
 - 交野市役所 土木建設課
 - 大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)
 - 大阪府枚方土木事務所(北河内府民センタービル)
 - 寝屋川市役所 下水道室管理担当
 - 枚方市役所 下水道整備室
 - 柏原市役所 道路水路整備課
 - 藤井寺市役所 下水道課
 - 四條畷市役所 建設課

閲覧と意見募集期間は、
 4月9日(月)から
 4月23日(月)まで

ご意見はこちらまで

《郵送・FAXの場合》
 〒536-0023
 大阪市城東区東中浜4-6-35
 大阪府寝屋川水系改修工営所 工務課 企画設計グループ あて
 TEL 06-6962-7664 FAX 06-6969-6483

《電子メールの場合》
 メールアドレス neyagawasukei-g02@sbox.pref.osaka.lg.jp

いただいたご意見を
 踏まえ河川整備計画の
 対応方針の検討を進め
 てまいります。

平成22年6月に定めた『今後の治水対策の進め方』
 『人命を守ることを最優先とする』ことを基本理念に

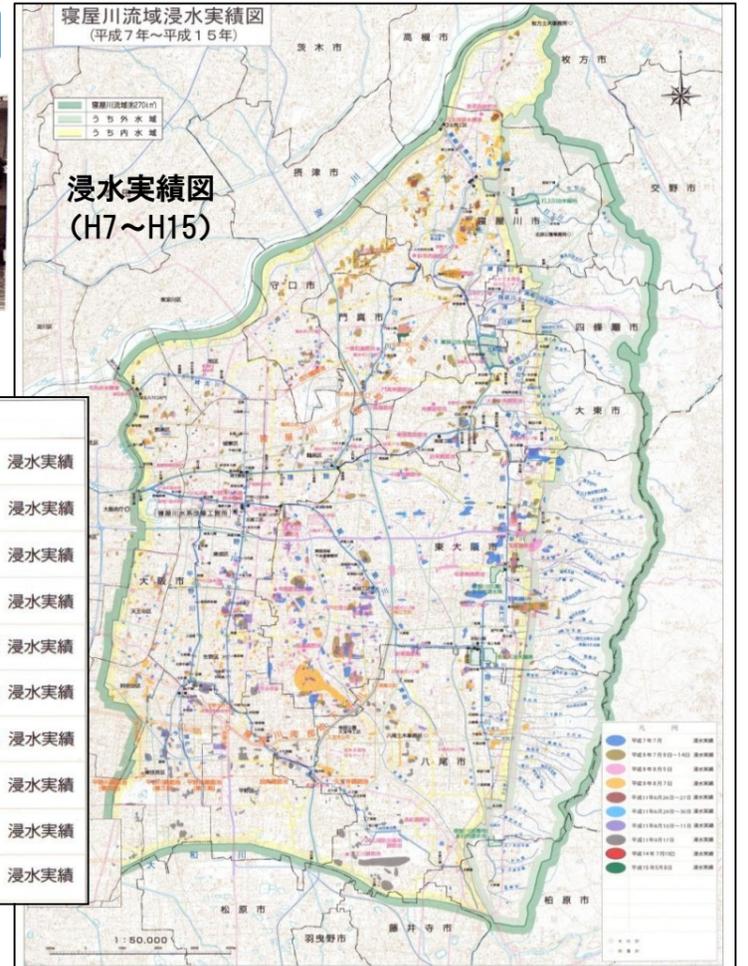
淀川水系寝屋川ブロック 河川整備計画(変更原案)

をとりまとめました。

平成24年6月12日(火)
 平成24年度 第1回
 大阪府河川整備委員会
 参考資料 2



過去の大規模水害



新たな治水対策

基本となる考えは・・・

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。

【取組み方針】

- (1) 現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

将来目標(長期計画)

府管理の全河川について、時間雨量80ミリ程度^{※1}の降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。（寝屋川流域では「八尾実績降雨^{※2}」を将来目標としています）

※1 時間雨量80ミリの降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨
 ※2 昭和32年6月に八尾で観測した戦後最大実績降雨

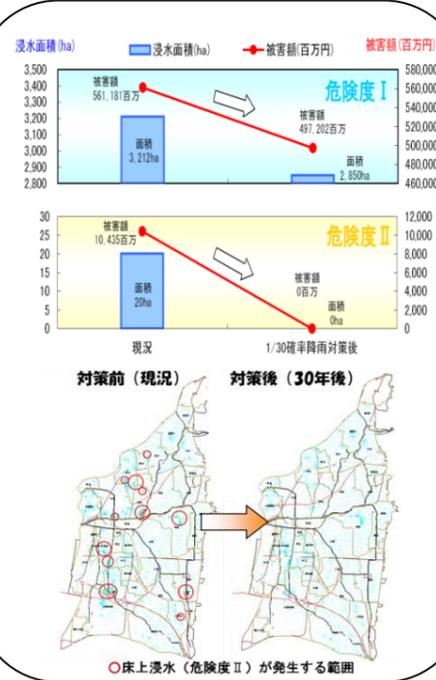
当面の治水目標

【今後20～30年の当面の治水目標】

時間雨量50ミリ程度^{※3}の降雨で床下浸水が発生させない。
 かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度^{※4}の降雨で床上浸水が発生させない。

※3 時間雨量50ミリの降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨
 ※4 時間雨量65ミリの降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

河川整備が進んでも・・・

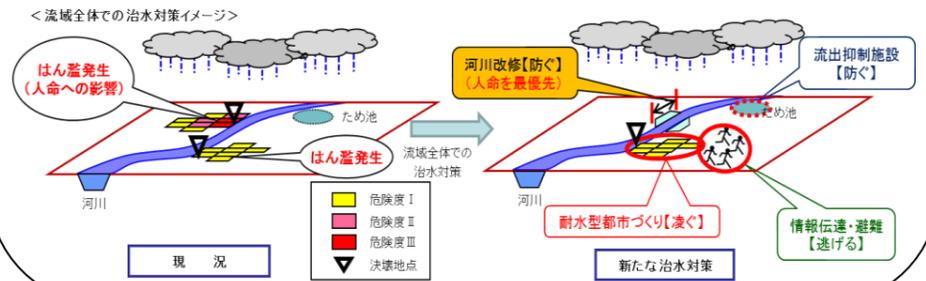


★河川整備が進んでも
 ★河川流域は低平地に加え、都市化の進展により洪水リスクに対して脆弱な地域
 ★河川整備が進んでも
 ★河川流域は低平地に加え、都市化の進展により洪水リスクに対して脆弱な地域

総合的・効果的な治水手法の組み合わせ

※😊印は、地域のみならずの協力が不可欠

- 流出抑制: 雨が降っても河川へ出る水量を減らす。(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用など)
- 治水施設の保全・整備: 河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避するなど、河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。(河川改修・堆積土砂除去など)
- 耐水型都市づくり: 河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。(家屋の耐水化・高床化などの促進)
- 情報伝達・避難: 河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、流域市と連携した避難体制づくりの促進など)



「防ぐ」ための・・・

河川整備の対象区間

完成イメージパース

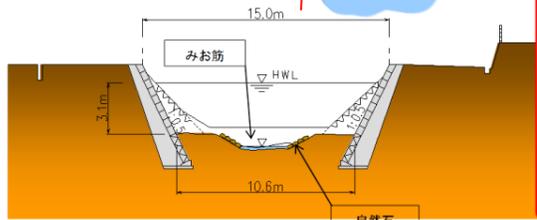


公園や駐車場などの公共施設の地下を活用し、水を貯める施設を整備します。



地下に河川をつくり、流末には排水機場を整備して河川に排水します。なお、地下河川が全て完成するまでは、完成済みの施設は暫定的に雨水貯留施設として活用し、浸水被害の軽減を図ります。

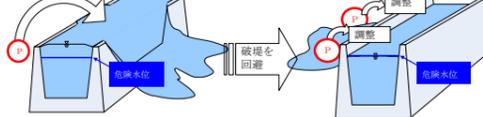
河川の改修



河幅を広げ、河底を掘り下げることで水の流れの断面を確保します。

下水道のポンプ運転調整ルール

川が溢れる恐れのある水位に達した場合、その水位を下げる効果のあるポンプ施設の運転を調整することにより、浸水被害をできるだけ抑えることを河川の管理者やポンプの管理者である下水道管理者と共同で決めます。



河川環境の整備内容

河川環境改善における今後10年間の実行計画として策定予定の、「寝屋川流域水環境改善計画」に基づき河川環境の改善に取り組みます。

地域と一体となって目標像の区分に応じた整備を行います。

河川や流域の特性などを踏まえた区分別の目標像

- ①上流域: 水に入って生き物と触れ合える川
- ②中流域: 暮らしの中に憩いやすかつろぎを与える川
- ③下流域: 街なかオープンスペースとしてゆとりが感じられる川

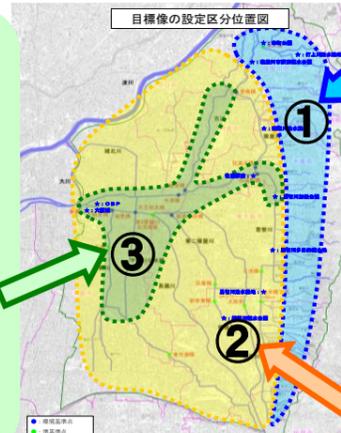
景観の改善(堤防緑化)など

堤防の景観を改善し地域が愛着をもてる川にします。

景観の改善イメージ



川の雰囲気は良くなり、川でゆとりが感じられます。

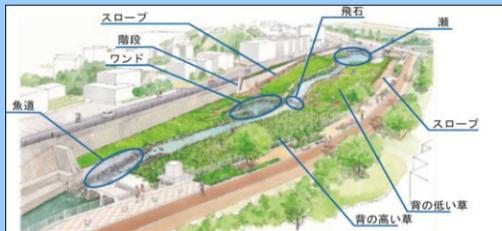


流域全体での取り組み支援

官民協働の取り組みとして、ボランティア活動による河川美化活動を支援します。



地域が主体となった親水空間の整備など



親水空間整備イメージ



川に人が集まり、生き物にも触れ合えるようになります。

親水性護岸の整備や水質浄化など



薄層流浄化イメージ

堤防緑化イメージ

川に近づきやすくなり、いこいやすかつろぎの場となります。

河川の維持管理

- 河川管理施設の維持管理・・・護岸や水門など構造物の定期的な点検・適切な補修、修繕
- 河道・遊水池などの維持・・・堆積土砂の計画的な撤去
- 日常管理・・・生態系配慮した除草や樹木の伐採・市民団体などと連携した河川敷清掃
- 水量・水質の保全・・・水量・水質データの把握による水環境の保全・改善
- 被災後の復旧・・・二次災害を防止するため応急的な対策、速やかな機能復旧



鋼矢板護岸の補修をしなかった場合のイメージ